

平成28年度農林水産業再生セミナー開催要領

1 目的

本県の農林水産業や農山漁村が、東日本大震災及び原子力災害からの復興・再生を成し遂げ、以前よりも豊かで魅力あるものとして創造され、若い世代に引き継がれていくようにするため、生産者自らの積極的な取組はもとより、生産から流通・消費に至る様々な立場の人々が一体となり、その思いと力を一つにして取り組む「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」を展開しているところである。

今回は、農林水産業イノベーションプロジェクト等を取り入れた新しい農業の展望や可能性と木質バイオマスなど森林資源の有効活用をテーマに、講演や成果発表を行い、浜通り地方における農林水産業の復興・再生に資する。

2 日時

平成29年3月13日（月）

＜第1部＞10：30～12：00

＜第2部＞13：15～15：45

3 場所

環境創造センター環境放射線センター 1階 大会議室

（南相馬市原町区萱浜字巢掛場 45-169）

4 内容

＜第1部＞（10：30～12：00）

講演（1）「地域の木質バイオマスエネルギーについて」

講師：相双農林事務所森林林業部林業課 主任主査 福地雅弘 氏

講演（2）「メタン発酵による木質バイオマス実証事業について」

講師：国立研究開発法人森林総合研究所

森林資源化学研究領域 農学博士 大塚祐一郎 氏

事例紹介 「福島県内での農業用木質ペレットボイラーの活用事例」

発表者：農業用木質ペレットボイラー製造業者

＜第2部＞（13：15～15：15）

基調講演 「避難地域等の営農再開に向けた新しい農業（ICT、ロボット等）の可能性について」

講師：農林水産省農業技術会議事務局研究統括官（生産技術）室
研究専門官（スマート農業担当）飯嶋渡 氏

研究成果報告（15：15～15：45）

「農林水産業イノベーションプロジェクトの研究成果について」

報告者：農業総合センター

5 対象者

農林漁業者、関係団体職員、県・市町村職員 等

6 主催

＜第1部＞

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動相双地方推進本部
（事務局：相双農林事務所）

＜第2部＞

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動推進本部
（事務局：福島県農林企画課）